

## 東芝、指紋認証 I Cカード開発 米カード大手が採用

2018/1/17付 | 日本経済新聞 朝刊

東芝は指紋認証センサーを備えた次世代 I Cカードを開発した = 写真。2018年に米クレジットカード大手などが採用する予定で、初年度に4000万～5000万枚の販売を見込む。センサーは各種 I Cカードに搭載でき、決済機能も付けられる。社員証や公的機関の証明書での採用も見込んでおり、3年後に年1億枚以上の販売を目指す。

次世代 I Cカードは12年から東芝が開発してきた。指紋センサーと認証システムはモリックス（東京・千代田）が提供し、東芝はカードの量産や営業を担う。センサーは縦横8ミリメートルの正方形で、厚さは0.18ミリメートル。最大で50本分の指紋を一度に登録でき、1秒以内に認証できる。近距離無線通信規格「NFC」などと組み合わせて使うこともできる。

米クレジットカード大手が18年から利用を始める。カードを端末に通しても指紋を認証しなければ決済できないため、第三者による不正利用を防げる。



本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.